

2009年度支部春季大会 講演要旨

■講演

「外国語学習の科学：SLA 研究のメディア教育への示唆」

白井 恭弘氏



第二言語習得研究の究極的 목적は、第二言語習得という現象の解明です。外国語教育を向上させるために、個々の教師がいか「研究者的視点」をもって「科学的に」学習者に対峙していく必要があります。本講演では、岩波新書『外国語学習の科学』の内容を紹介しながら、以上のことを検討していきます。

LET 関西支部 2009 年度春季研究大会

日 時： 2009 年 5 月 16 日（土）10:00～17:10

場 所： 京都外国語大学 1 号館

Kyoto University of Foreign Studies

〒615-8558 京都市右京区西院笠目町6

<http://www.kufs.ac.jp/>

主 催： 外国語教育メディア学会（LET）関西支部

<http://www.let-kansai.org/>

事務局： 〒584-8540 大阪府富田林市錦織北 3-11-1

大阪大谷大学文学部英米語学科 小山敏子研究室内

Tel. 0721-24-2642（研究室直通）

E-mail: [mtkoyama\[at\]osaka-ohtani.ac.jp](mailto:mtkoyama[at]osaka-ohtani.ac.jp)

2009年度支部春季大会ワークショップ要旨

- ・ワークショップは、すべて並行開催で当日先着順に受け付けます。(事前申込み不要)
- ・ワークショップのみご参加の場合でも、必ず「受付」で参加登録をお済ませください。
- ・LET 会員は無料、非会員の方でも、大会受付で当日会費をお支払いいただくと、無料でご参加いただけます。

■ワークショップ1 (定員 58 名)

「英語授業の心技体： お楽しみのための歌を超えて」

静 哲人氏



歌を使って実質的な音声指導ができるための必要条件として、教師自身が自信を持ってアカペラでその歌を自由自在に(ゆっくり歌ったり、ことさら誇張したり)歌えることがある。Top of the Worldを題材に、その条件を参加者がクリアできるようにお手伝いします。生徒の英語を上手くしてやりたい方、自分の度胸をつけたい方、参加してください。

■ワークショップ2 (定員 58 名)

「小学校英語活動の実践で大切にしたいこと」

山本 玲子氏



小学校英語活動の実践で大切にしたいことは、児童の知的好奇心を大切に、文字指導を含む知的負荷の高い題材を与えること、そして身体と心を動かす(情動を動かす)体験を蓄積することであると考えます。それが、生徒のモチベーションを高め、「中学校につながる英語の素地」を耕すことになると考えます。実践例として、文字導入・チャンツ・絵本を使った授業などを紹介します。そのうちいくつかをワークショップとして行います。

■ワークショップ3 (定員 58 名)

「デジカメの動画機能とWindowsムービーメーカーを使った動画教材作成法」

東 淳一氏



教室内での教育活動、Native Speaker のモデル発話や対話、海外研修旅行の記録など、動画にまとめて編集しておき、教育に活用できないでしょうか。実は、デジカメの動画機能と WindowsXP(SP2 以上)あるいは Windows Vista に付属するムービーメーカーを利用すれば簡単に動画編集ができるようになります。このワークショップでは、具体的にデジカメの動画機能を使って録画されたファイルのパソコンへの取り込みから、カッコよく編集完了した動画のファイルへの書き出しにいたるまで、動画素材作成のノウハウを、実演を通じてわかりやすく解説します。